

RPPC メールマガジン 第 861 号

リサイクルポート推進協議会（令和 3 年 2 月 24 日）

■先週・今週の事務局からのお知らせ

・RPPC 国際資源循環部会は「我が国の国際鉄リサイクルビジョンに向けた中間取りまとめ」を策定しました。

国際資源循環部会では、平成 30 年度部会設立以来、合計 6 回の部会を開催し、鉄スクラップの遠方国への輸出強化に向けて検討をを行ってきました。

この度、より適切な鉄リサイクル環境を構築していくため、我が国が取るべき取組の方向性を示すべく「国際鉄リサイクルビジョンに向けた中間取りまとめ」を国土交通省港湾局長に提出しました。

本取りまとめについては、協議会 HP の会員専用ページ『専門部会の調査・研究成果』（以下 URL）に掲載しております。

（ID・パスワードが必要な場合は下記をご利用ください）

専門部会の調査・研究発表

http://www.rppc.jp/member/m_seikabutsu.html

『我が国の国際鉄リサイクルビジョンに向けた中間取りまとめ』本文

http://www.rppc.jp/member/pdf/m_seikabutsu/210222.pdf

ID: rppc

PASSWORD: 7SGkt

■リサイクルポートに関連する最新の情報

1. 国交省、グリーン社会実現へ議論、環境行動計画の改定

国土交通省は 2 月 5 日、「社会資本整備審議会環境部会・交通政策審議会交通体系分科会環境部会第 36 回合同会議」、を WEB 方式で開催し、「国土交通省環境行動計画」等の改定に向けて議論した。2050 年のカーボンニュートラルの実現に向け、国交省の環境分野でのグリーン技術を含めた施策・プロジェクトを検討するべく、合同会議の下に「グリーン社会 WG」を設置することを決めた。同 WG では今後、月 1 回程度会合を開催し、今年夏頃を目途に検討成果をとりまとめ、環境行動計画等の改定に反映させる予定。

2. 福島県沖地震、相馬港に軽微な被害発生。耐震強化岸壁は健全性示す

国土交通省港湾局は2月13日23時過ぎに発生した福島県沖地震による相馬港の被災状況と耐震強化岸壁の状況をまとめた。

東北地方整備局の現地状況点検、ならびに国土技術政策総合研究所と港湾空港技術研究所の担当者が、現地に入り被災状況を調査した。

点検、調査結果によると、同港で耐震強化岸壁になっている3号ふ頭の3-1岸壁（水深12m）では、背後ヤードに液状化の痕跡、エプロン陸側端部に多少のクラックは生じていたが岸壁機能に影響はないことが判った。

このほか3-4岸壁（水深10m）はエプロンに段差（段差25cm、長さ200m）、クラック、背後ヤードの沈下などが発生し当面、利用制限が必要になっている。国総研等調査によれば岸壁が水平変移した可能性がある。

また2号ふ頭では、2-2岸壁（水深7.5m岸壁）、2-1岸壁（水深5.5m）においてもエプロン部に段差が発生するなど被災があったが、利用可能な状況。

3. 大分港大在西ROROバース新設、地盤改良とケーソン製作

九州地方整備局別府港湾・空港整備事務所は、今年度から新規着手している大分港大在西地区の複合一貫輸送ターミナルの整備で、令和3年度に岸壁基礎部の地盤改良、並びにケーソン製作工事を実施する。第1・四半期にCDMによる地盤改良と、ケーソン製作2件（合計8函）の入札を予定している。

大分港大在西地区複合一貫輸送ターミナルは、RORO船ふ頭として現在供用中の大在西地区水深7.5m岸壁が、背後用地の不足等により輻輳しているほか、貨物増に対応して今後大型船の就航や新規航路開設が見込まれることから、大在西地区に大型RORO船（7000DWT級）の接岸が可能な水深9m岸壁2バースを新たに整備する。また耐震岸壁とし、震災時における緊急輸送機能の役割を持たせる。

新たな岸壁は大在西地区の現護岸から約20m前出しし、水深9m岸壁延長240m（第1バース）と同220m（第2バース）の重力式構造の2バースを整備する。

※港湾空港タイムス2月22日号から編集

※新たに導入した PC とメーラーの環境では、添付ファイルが「***.dat」となったり、不要な添付ファイルが付く場合があります。受信ファイルに不具合がある場合は、気兼ねなくその旨ご指摘ください

////////////////////////////////////

発行者：RPPC 広報部会

部会長：新谷 聡 りんかい日産建設（株）

部会員：山田 安彦 日本製鉄（株）

友歳 巖 五洋建設（株）

川田 延也 東京都

齋藤 憲雄 山形県リサイクルポート情報センター

リサイクルポート推進協議会 事務局

一般財団法人みなと総合研究財団（内） 担当：押田、清水、安田

URL: <http://www.rppc.jp/> E-mail: rppc_jimukyoku@wave.or.jp

////////////////////////////////////